

Cisco Identity Services Engine における特権昇格の脆弱性

High

アドバイザーID : cisco-sa-20190123-ise-privilege

[CVE-2018-15459](#)

初公開日 : 2019-01-23 16:00

最終更新日 : 2019-09-18 15:48

バージョン 1.1 : Final

CVSSスコア : [6.5](#)

回避策 : No workarounds available

Cisco バグ ID : [CSCvi44041](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Identity Services Engine (ISE) の管理 Web インターフェイスにおける脆弱性により、影響を受けるデバイスでは、認証されたりモートの攻撃者が追加の権限を取得できる危険性があります。

この脆弱性は、Web インターフェイスの特定のページにおける不適切なコントロールに起因しています。攻撃者がデバイス上で管理者アカウントにより認証され、細工した HTTP 要求を送信した場合、この脆弱性をエクスプロイトされる可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は別のユーザ ロールで追加の管理者アカウントを作成することができます。攻撃者はそれらのアカウントを使用して、各アカウントの範囲内のアクションを実行できます。エクスプロイトには、デバイスの有効な管理者クレデンシャルが必要になります。ただし攻撃者がエクスプロイトに成功しても、ネットワーク管理者の権限を追加することはできません。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしました。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20190123-ise-privilege>

該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性の影響を受けるのは Cisco Identity Services Engine (ISE) です。脆弱性が存在する Cisco ISE リリースについては、このアドバイザリの「[修正済みソフトウェア](#)」セクションを参照してください。

デバイスで現在実行されているソフトウェアのリリースは、管理者がデバイスの CLI で **show version** コマンドを使用するか、管理ポータルの上隅で [設定 (Settings)] (歯車アイコン) > [ISEバージョン情報 (About Identity Service Engine)] をクリックすることで確認できます。CLI コマンドの出力は、次の例のようになります。

```
ServiceEngine115/admin# show version

Cisco Application Deployment Engine OS Release: 3.0
ADE-OS Build Version: 3.0.3.030
ADE-OS System Architecture: x86_64

Copyright (c) 2005-2014 by Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.
Hostname: ServiceEngine115
```

```
Version information of installed applications
-----
```

```
Cisco Identity Services Engine
-----
```

```
Version : 2.3.0.298
Build Date : Tue Jul 25 08:43:13 2017
Install Date : Thu Aug 31 14:08:38 2017
Cisco Identity Services Engine Patch
-----
```

```
Version : 1
Install Date : Wed Oct 25 01:57:01 2017
```

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性が存在する製品の](#)セクションにリストされている製品だけ既知この脆弱性によって影響されるためにである。

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

シスコはこのアドバイザリに記載された脆弱性に対処する無償のソフトウェア アップデートを提供しています。お客様がインストールしたりサポートを受けたりできるのは、ライセンスをご購入いただいたソフトウェア バージョンとフィーチャ セットに対してのみとなります。そのようなソフトウェア アップグレードをインストール、ダウンロードする、または、アクセスしたり、

その他の方法で使用する場合、お客様は以下のリンクに記載されたシスコのソフトウェア ライセンスの条項に従うことに同意したことになります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/end-user-license-agreement.html>

また、お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、ソフトウェアの有効なライセンスをシスコから直接、あるいはシスコ認定リセラーやパートナーから取得している場合に限りです。通常、これは以前購入したソフトウェアのメンテナンス アップグレードです。無償のセキュリティソフトウェア アップデートによって、お客様に新しいソフトウェア ライセンス、追加ソフトウェア フィーチャ セット、またはメジャー リビジョン アップグレードに対する権限が付与されることはありません。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[Cisco Security Advisories and Alerts ページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成は新規リリースでも継続して適切なサポートが受けられることを確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンス プロバイダーにお問い合わせください。

サービス契約をご利用でないお客様

シスコから直接購入したがシスコのサービス契約をご利用いただいていない場合、また、サードパーティ ベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを購入先から入手できない場合は、Cisco TAC に連絡してアップグレードを入手してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>

無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

修正済みリリース

使用しているデバイスで影響を受けるリリースを実行している場合は、次の表に示すように、適切なリリースにアップグレードすることをお勧めします。

| Cisco Identity Services Engine のリリース | この脆弱性に対する最初の修正リリース |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 2.2.0 以前 | 影響あり。2.2.0 パッチへの移行する 10 ¹ |
| 2.2.0 | 2.2.0 パッチ 10 |
| 2.2.1 | 2.2.1 パッチ 1 |
| 2.3 | 2.3 パッチ 5 |
| 2.4 | 2.4 パッチ 2 |

1. リリース 2.1.0 はパッチ 9 で修正されています。パッチ 9 は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) に連絡して ISE 開発チームから直接取得できます。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

出典

本脆弱性は、シスコ内部でのセキュリティ テストによって発見されました。

URL

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20190123-ise-privilege>

改訂履歴

| バージョン | 説明 | セクション | ステータス | Date |
|-------|------------------------------|------------|-------|-----------------|
| 1.1 | ISE 2.1.0 の修正の取得方法に関する情報を追加。 | 修正済みソフトウェア | 最終版 | 2019 年 9 月 17 日 |
| 1.0 | 初回公開リリース | | 最終版 | 2019 年 1 月 23 日 |

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。